



## 分科会B:介護



三菱UFJリサーチ&  
コンサルティング  
鈴木 陽子

仕事をしながら介護をする人が増えていますが、これからの社会で、何が大切になってくるのでしょうか。家族介護者支援団体、企業、介護専門職のお立場より、お話を聞かせてください。

仕事と介護の両立について、これまで企業や専門職の方々の考えや実態を知るチャンスがなかったので、今回のシンポジウムは良い機会と期待しています。



NPO法人  
介護者サポートネットワーク  
センター・アラジン  
森川 恵子さん



トヨタファイナンス株式会社  
人事部 労務人事グループ  
主幹 篠原 宏美さん

介護はある日突然やってきます。仕事と両立するためには、親族、地域、専門職の一体となったチームづくりがかかせません。弊社事例を通して、地域社会との繋がりを一緒に考えていきましょう。

「介護」という問題を社会全体で支えるために何が必要か真剣に取り組む時が来ています。それぞれの関係者が行動を起こさなければ何も変わりません。さあ、繋がりましょう！



独立型・居宅介護支援事業所  
ケアステーション地球人  
主任ケアマネジャー  
唐木 美代子さん

# 分科会B:介護 実施概要

## ■ 介護分科会～仕事と介護の両立 社員や企業が地域社会とつながることの可能性～

### 概要

- この20年、仕事と介護の両立をめぐる環境は大きく改善しましたが、依然、介護を理由に離職する人は減少していない状況にあります。
- 介護離職を防止するためには、職場の両立支援制度や介護サービスの充実に加え、地域社会における支えや支援が重要となります。超高齢社会となるこれからの社会に向けて、特に社員や企業と地域社会のつながりをテーマに、様々な立場の登壇者、参加者とともに考えます。

### 登壇者 ご紹介

- トヨタファイナンス株式会社 人事部 労務人事グループ 主幹 篠原 宏美 氏
  - 2002年トヨタファイナンス(株)入社。現在人事部労務人事グループでダイバーシティ全般を推進。自身も娘3人の育児、実義父母の介護を経験しながら仕事と両立。学び続ける姿勢を忘れず50歳で心理学専攻。産業組織心理学等を業務に活かしている。産業カウンセラー、国家資格キャリア・コンサルティング技能士。
- 独立型・居宅介護支援事業所 ケアステーション地球人 主任ケアマネジャー 唐木 美代子 氏
  - 看護師・保健師・主任介護支援専門員。看護師として病院勤務。臨床を経て行政保健師へ。寝たきりの方や家族の厳しい現実と直面する。希望にて介護保険事業所へ出向。その後は介護支援課長として制度に関わる。現在ケアマネジャーとして奮闘中。
- NPO法人 介護者サポートネットワークセンター・アラジン スタッフ 森川 恵子 氏
  - 実母の認知症発症を期に仕事と育児と介護の生活を送る。育児と同様に介護も最も身近で世話をする人への支援が大事と、アラジンの理念に賛同し活動を始める。ケアラズカフェ専任スタッフ。

### 参加対象

- 企業のダイバーシティ推進担当・人事担当の方 ■介護専門職の方
- 自治体職員の方 ■家族介護者支援に取り組んでいる団体の方

# 分科会B:介護 プログラム(予定)

| 所要時間 | テーマ                        | 主な内容                                                                                                                                                                                                                                     |
|------|----------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 5分   | ガイダンス                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>■ ご挨拶、分科会プログラムの説明</li> <li>■ 登壇者のご紹介</li> </ul>                                                                                                                                                   |
| 10分  | 問題提起(MURC)                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 働きながら介護をする人が増加する中、仕事と介護の両立を支援するために、法律の改正や企業における両立支援・環境の整備、地域における家族介護者支援の充実等が図られてきました。一方で、介護離職者数は横ばいの状況にあります。まず、働く家族介護者を取り巻く環境や両立上の課題等について共有します。</li> </ul>                                      |
| 10分  | 企業からの発表                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 企業の人事労務担当者から、企業における仕事と介護の両立支援の取組状況、社員の仕事と介護の両立状況、両立上の課題、現在の課題意識、地域社会とのつながりの必要性・可能性について発表いただきます。</li> </ul>                                                                                      |
| 10分  | 介護専門職からの発表                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 家族介護者に対する支援を行う中で、介護専門職の視点から、働く家族介護者の両立上の課題や介護サービス等の利用の工夫、特に地域資源の活用や地域社会との繋がりづくりについて発表いただきます。</li> </ul>                                                                                         |
| 10分  | 家族介護者支援団体からの発表             | <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 家族介護者を地域で支える中で、働く家族介護者の地域との繋がり状況、繋がることで、どのような課題が解消されるのか、繋がりを作るためにどうしたらよいのか等について、発表いただきます。</li> </ul>                                                                                            |
| 5分   | 問題提起(MURC)                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 両立支援制度や介護サービスの活用に加えて、地域社会と繋がることで、仕事と介護の両立、さらに家族介護者自身の生活との両立について、どのような可能性が広がるでしょうか。</li> <li>■ 働く家族介護者が地域社会と繋がるために、企業ができること、介護専門職ができること、地域の支援団体ができること、家族介護者自身が行動すべきこととは、どのようなことでしょうか。</li> </ul> |
| 20分  | グループディスカッション①<br>(最初に自己紹介) | <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 働きながら介護をしている人は、どのような課題や不安を抱えているでしょうか。</li> <li>■ 職場の両立支援制度や介護サービスでは解消できない課題や不安には、どのようなものがあるでしょうか(地域社会との繋がりによる解消を見据えて)。</li> </ul>                                                               |
| 25分  | グループディスカッション②              | <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 働きながら介護をしている人が、離職をせずに仕事と両立できるようにするために、地域とどのように繋がればよいでしょうか。</li> <li>■ 働く家族介護者が地域と繋がるために、企業、介護専門職、地域団体は何ができるでしょうか。働く家族介護者自身は何をすべきでしょうか。</li> </ul>                                               |
| 25分  | 全体共有・総括                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 各グループのディスカッション内容を発表し、全体で共有(1グループあたり2分×3グループ程度)</li> <li>■ 登壇者からコメント</li> <li>■ 分科会の振り返り、全体会(後半)の案内</li> </ul>                                                                                   |